

## 気候変動を自分事に

### ～グレタさんの英語演説を聞いてみよう～

奈良教育大学 英語教育専修 4 回生 下原舞

#### 1 単元名 『気候変動を自分事に』

～グレタさんの英語演説を聞いてみよう～

(高校第 2 学年英語科)

#### 2 目標

##### (1) 英語科としての目標

- ・グレタさんの気候変動についての演説を聞いて、英語のリスニングにおいて段階的に、①全体の概要をつかむ力②特定の情報を見つけられる力③詳細まで理解できる力を鍛える。
- ・気候変動・地球温暖化に関する重要表現を聞いたり読んだりして、単元終盤のコミュニケーション活動で使えるよう理解を深める。
- ・グレタさんの演説内で使用されている重要表現”How dare you～”の構造と意味を理解することができる。
- ・気候変動について英語で意見を交換したり、グレタさんのスピーチを参考に自分自身の想いを乗せたスピーチを行うことができる。

##### (2) ESD の目標

- ・気候変動に対して当事者意識と危機感を持ち、気候変動を抑制するために自分たちに出来ることを具体的に考え、行動することができる。
- ・グレタさんの行動力に刺激を受け、自分も気候変動に対して積極的に参加し、貢献したいという思いと責任感を持つことができる。

#### 3 単元について

高校 2 年生英語科 「気候変動を自分事に」 全 5 時間

昨年シドニーで留学中、学生による気候変動のストライキ行進を何度か見かけ、私の友達も何人か参加していた。日本ではとても見たことのない光景だったので、とっさにその時の様子を写真に撮ったとき、ふと「そういえばスウェーデンの若い女の子が強く訴えかけているスピーチがあったな」と思い出し、そのスピーチを改めて聞いた。15 歳でより強い気候変動対策をスウェーデン議会の外で呼びかける学校ストライキを始めた、自分より若い一人の女の子が見せた行動力に胸打たれ、教材に出来ないかと考えた。

今回教材にしているスピーチを行ったのはスウェーデン出身の環境活動家、グレタ・トゥーンベリさん（現在 17 歳）。主に地球温暖化によってもたらされるリスクを訴えている。2018 年に 15 歳でスウェーデン議会の外で抗議を始め、2019 年 9 月にはニューヨークで開かれた国連気候行動サミットに出席

し、温暖化解決のための具体的な行動を取らないのであれば、「結果とともに生きなければいけない若い世代」はあなたたちを許さない、と世界のリーダーたちを叱責した。本單元ではこの国連でのスピーチを扱い、スピーチのため聞き取りやすく話している英語を聞いてリスニング力の向上に努めながら、本單元を通してグレタさんと同い年の高校2年生の生徒に気候変動や地球温暖化に対して当事者意識・責任性を持たせて、自分たちに出来ることを考えさせたい。

また、高校2年生になり、ある程度英語で自分の意見を述べたりコミュニケーションを取ることが出来るようになってきた生徒たちに、更なる英語でのコミュニケーションの場や、最終的には自分自身で短い英語でのスピーチに挑戦させる場を提供することも目標の一つとする。

#### 4 単元のESD的視点

##### (1) その題材で働かせるESDの見方・考え方

- ・ **相互性**…人間の起こす行動が環境に影響を及ぼす。
- ・ **有限性**…化石燃料は無限ではない。新しいエネルギーについて考えなければならない。
- ・ **公平性**…世代間・世代内の公正（後述）
- ・ **連携性**…個人単位だけでなく、地域で、自治体で、国で協力して考えなければいけない問題。
- ・ **責任性**…気候変動を自分事と捉え、自身の行動に責任を持つ。グレタさんは15歳の時に学校ストライキを始めた。同じ世代の学生が見せた行動力に「自分にもできることがあるのではないか」と感じてほしい。

##### (2) その学習を通して育てられるESDの資質・能力

- ・ **批判的に考える力（クリティカル・シンキング）**  
…自分の暮らしや国の対策等を批判的に見つめ直し、改善すべき点を見つける。
- ・ **未来像を予測して計画を立てる力**  
…グレタさんの話などから、今のままの生活を続けると10年後、20年後どうなるか批判的に予測して危機感を持ち、自分にできる行動を計画的に考えられるようになってほしい。
- ・ **コミュニケーションを行う力**  
…授業内のグループワークにおいて養いたい能力。可能であれば、日本語だけでなく、簡単な英語でのディスカッション能力の向上もはかる。
- ・ **進んで参加する態度**  
…この授業において大切にしたいのは「当事者意識」や「責任性」。グレタさんの行動力に刺激を受け、自分も積極的に参加し、貢献したいという思いを持ってほしい。

##### (3) その学習を通して育てられるESDの価値観

- ・ **世代間の公正**  
…グレタさんの「私たちや私たちの子供の世代に任せっきりだ」という言葉から、環境のこれからを考え、責任を担っていくのは自分たちの世代なのだとは自覚し、さらに次の世代の人達のことも考えられるようになってほしい。
- ・ **世代内の公正**  
…パリ協定には192カ国とEUが署名したが、2017年6月にアメリカが「中・露・印等温室効果ガ

スの排出量が米国と同じく多い国は何もパリ協定に貢献していないのにアメリカは何十億ドルも負担するのは不公平」として離脱を表明。このことや、市場メカニズムと呼ばれる排出量取引について世代内の公正の観点から考えてほしい。

・自然環境、生態系の保全を重視する

…地球温暖化が海や陸の生態系へも変化を及ぼすこと、サンゴの白化や森林減少につながってしまうことを理解する。

(4) その学習で達成される SDGs

- ⑦エネルギー
- ⑫生産と消費
- ⑬気候変動

5 単元展開の概要

時	主な学習活動と内容	◇教師の支援	◆主な評価
1	<p>(1) 導入</p> <p>私がシドニー留学中に起こった学生のストライキ運動の写真を見せ、気候変動のためのストライキであることに気付かせる。</p> <p>(2) リスニング</p>	<p>◇掲げているボードに書かれている“The climate is changing” “Climate action” “SOS our trees” “Green spaces” などから気候変動のために声を挙げているのだと気付かせる。</p> <p>◇世界には気候変動・地球温暖化のために活動する学生が多くいることを伝え、その代表例としてグレタ・トゥーンベリさんを紹介する。</p>	<p>◆【全体の概要をつかむ力】</p>
<p>現在 17 歳の環境活動家グレタ・トゥーンベリさんの国連気候行動サミットでの気候変動についてのスピーチを聞いてみよう。彼女はどんな気持ちで話しているだろう？</p>			
	<p>1. スピーチ動画を流す（1回目）</p> <p>2. なぜグレタさんは怒っているのか、聞き取れた印象から推測させ、もう一度聞</p>	<p>◇彼女のスピーチを聞いて何となく概要を理解した生徒たちに、スピーチ全体から読み取れる彼女の感情を”angry”, ”sad”, ”worried”, ”impatient”など英語で + その根拠を引き出す。</p> <p>(angry→語気が強かった。”How dare you!”と何度も言っていた。など)</p> <p>◆音声に注目して聞いているか。</p> <p>◇世界のリーダーたちが地球温暖化に本気で取り組んでいないから怒りを示していると気付かせる。</p> <p>◇重要表現”How dare you~”の構造と意味の確認</p> <p>◆全体の概要を掴めているか。</p>	

	いて確認する（2回目）	◆”How dare you~”の表現を拾えているか。
2	(3) リスニング2	【特定の情報を見つけられる力】
	<p>グretaさんの演説をもう一度聞いて、気候変動について具体的に問題点を整理してみよう。</p>	
	1. 音声をもう一度流し、気候変動に関するキーワードが抜けている穴埋め問題を解かせる（3回目）	◇間違いが多い部分をもう一度聞いて確認し、答え合わせをする。 ◆音声を集中して聞きながら穴埋め問題に取り組んでいるか。 Ecosystem（生態系）、emissions（排出）、air pollution（大気汚染）、global warming（地球温暖化）など
	2. 地球温暖化や気候変動による主な悪影響について、パートナーと思いつく分だけ考えてもらい、クラス全体で共有	◇以下のようなアイデアが出来ることを期待し、出なかった分は教師から補足して伝える。 ・農業の作物が不良 ・サンゴの白化や森林減少 ・気温上昇による熱中症患者の増加 ・生態系への影響 ・海面上昇、海水酸性化 ・洪水、干ばつ、豪雨、高潮 ◆積極的にアイデアを出しているか。 ◆地球温暖化が海や陸の生態系へも変化を及ぼすこと、サンゴの白化や森林減少につながってしまうことを理解できているか《自然環境、生態系の保全を重視する》。
	3. これらの英単語を確認	◇まず生徒たちに英単語を知っているか投げかけ、出なかった分は教師が示す。発音の練習もさせる。 ◆積極的に答えようとしているか。 ◆発音練習で積極的に声を出しているか。
	4. 生徒たちが身近に感じている問題はどれか尋ねる	◇これらを踏まえ、生徒たちが日常生活の中で身近に感じている問題はどれか、生徒たち自身の経験から引き出す（豪雨や熱中症などが身近に感じやすいと考えられる）。
	5. 次回への足場かけ（世界の取り組みを知る）	◇世界平均気温の上昇を2℃未満に抑えること、21世紀後半までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること（脱化石燃料の達成）を目指して採択されたパリ協定について、教師から話をする。 ◇アメリカが脱退したこと、排出量取引が行われていることも伝え、公平

		<p>性の観点からどう思うか率直な意見を数人に求める (この段階では日本語でOK)</p> <p>◆教師の話を注目して聞いているか。</p> <p>◆公平性の観点から批判的に考えられているか。《公平性・クリティカルシンキング》</p>
3	(4) リスニング3	<p><b>【詳細まで理解できる力】</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">グレタさんの演説をもう一度聞いて、気候変動に対する取り組みは順調か見直してみよう。</p> <p>1. グレタさんのスピーチで気候変動に対する対策・取り組みの不足を訴えかけている部分を中心に作成した正誤問題を解かせる（4回目）</p> <p>2. スピーチのスク립トと日本語訳のプリントを配布</p> <p>3. もう一度聞かせる（5回目）</p> <p>◇間違いが多い部分をもう一度聞いて確認し、答え合わせをする。 ◇正誤問題の間違っていている部分に気付かせる。</p> <p>◆音声を集中して聞きながら詳細まで理解しようと取り組んでいるか。</p> <p>◇スピーチの内容を詳細までしっかりと理解させる。</p> <p>◇「気候変動に対する取り組みは順調か」という視点からもう一度聞いてもらう。配布したスク립トを目で追いながら聞いて理解を深める。 ◇「パリ協定の目標が達成できなかつたらリスクを負うのは私たちの世代なんだ」「国はもっと具体的な対策を国民に示すべきだ」など国や世界の取り組みについて批判的に考えさせ、数人に意見を述べてもらう。 ◇同時に「私たちと同年のたった一人の女の子の声が各国のトップに届いたのってすごい。自分にもできることがありそう」「国に任せきりじゃなくて個人で出来ることもあるんじゃないかな」など視点を自分たちに落とさせ、第4時に向けて当事者意識を高める。</p> <p>※教師が英語でフォローはするが、この段階では英語での意見発表は強要しない。</p> <p>◆内容を詳細まで理解できているか。</p> <p>◆気候変動に対する取り組みについて批判的に考えられているか 《クリティカルシンキング》</p> <p>◆自分ごとに落として考えられているか《責任性》</p>

4	(5) グループワーク	<p data-bbox="520 159 858 192">【コミュニケーション活動】</p> <div data-bbox="233 210 1402 277" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p data-bbox="252 226 1334 259">気候変動を抑制するために自分たちに出来ることを具体的に考えてみよう。</p> </div> <p data-bbox="225 304 483 479">1. 各個人に自分に出 来そうなことをノー トになるべく多く書 き出させる</p> <p data-bbox="225 640 483 674">2. 便利な表現の紹介</p> <p data-bbox="225 831 483 909">3. グループでアイデ アを共有（英語）</p> <p data-bbox="225 1167 483 1245">4. グループでエコビ ンゴの作成（英語）</p> <p data-bbox="225 1839 483 1872">5. 宿題を伝える</p> <p data-bbox="507 304 1430 434">◇このあとのグループワークで英語で共有してもらうので、電子辞書等を活用しながら出来るだけ英語で書くよう促し、教師は机間巡視しながらサポートする。</p> <p data-bbox="507 450 1394 483">◇教師はグループワークで使用するプリントを各グループに配布する。</p> <p data-bbox="507 499 1026 533">◆当事者意識を持って考えられているか。</p> <p data-bbox="507 548 970 582">◆なるべく英語で取り組んでいるか。</p> <p data-bbox="507 640 1430 770">◇グループワーク開始前に、教師が意見を述べる際や会話を進める上で使える便利な例文を示す。”I think 3R is important.” “That’s a good idea!”など</p> <p data-bbox="507 786 970 819">◆教師の話を目を注ぎながら聞いているか。</p> <p data-bbox="507 880 1139 913">◇グループで一人ずつアイデアを英語で共有する。</p> <p data-bbox="507 929 914 963">◇教師は巡回してサポートする。</p> <p data-bbox="507 978 1430 1057">◆ある程度英語で自分の意見を述べたりコミュニケーションを取ることができているか。</p> <p data-bbox="507 1072 1430 1151">◆グループ内でお互いを尊重しながらコミュニケーションを取れているか《コミュニケーションを行う力》</p> <p data-bbox="507 1211 1430 1290">◇共有したアイデアの中から8つのアイデアを選び、各グループオリジナルの「エコビンゴ」を作成させる。</p> <p data-bbox="507 1305 1026 1339">◇教師は机間巡視しながらサポートする。</p> <p data-bbox="507 1355 970 1388">◆積極的に活動に参加できているか。</p> <p data-bbox="507 1449 1430 1527">◇各グループが作成したエコビンゴの中からどれか一つを教師がコピー印刷して配布</p> <p data-bbox="507 1543 1410 1576">→生徒は1週間でなるべく多くビンゴできるようエコな生活を心がける</p> <p data-bbox="507 1592 1238 1626">→次の1週間は別のグループが作成したビンゴを配布する</p> <p data-bbox="552 1641 1366 1675">(継続して普段から環境に優しい生活を心がけられるようになる)</p> <p data-bbox="507 1691 1222 1724">◆積極的にエコビンゴの達成のために取り組んでいるか。</p> <p data-bbox="507 1740 1430 1818">◇これからのアクションを可視化することで「自分たちに出来ることってこんなにあるんだ」という気付きを得させる。</p> <p data-bbox="507 1879 1430 1957">◇次回のスピーチに向けて、自分がこれからどのような形、どのような方法で気候変動の抑制に貢献したいか、などの「アクションプラン」を伝え</p>
---	-------------	--

		る1分間スピーチを考えてくるよう伝える。
5	(6)スピーチ	【1分間スピーチ】
	自分のアクションプランを英語スピーチで皆に宣言しよう。	
	1. 準備してきた英語のスピーチを各自で練習する	◇なるべく原稿は見ずにスピーチできるようしっかりと練習させる。 ◇練習時間中は机間巡視しながら、内容や発音に関する質問があれば応じて適宜指導・助言するようにする。 ◆スピーチの準備（宿題）をしてきているか。 ◆積極的に練習のために時間を活用しているか。
	2. 教室の前に来て1分間スピーチを行う（英語）	◇教師は隅で見守る。時間を管理し、全員が発表できるようにする。 ◇スピーチが終わる毎に拍手を促し、良かった点を一言でフィードバックする。 ◆前を向いて適度な声量で話し、聴衆に対して伝えようとしているか。 ◆課題に沿った内容になっているか。
	3. まとめ	◇エコビンゴやスピーチを踏まえて自分たちにも出来ることが沢山あることを振り返り、これまでの活動に対するフィードバックを与えて授業を終わる。

## 6 使用する資料など

○シドニーで撮影した写真



○グreta・トゥーンベリの演説（以下日本語訳）

私から皆さんへのメッセージ、それは「私たちはあなたたちを見ている」、ということです。

私は今、この壇上にいるべきではありません。私は海の向こうで学校に行っているべきです。それなのに、あなたたちは私に希望を求めてここにきたのですか？よくそんなことができますね！

あなたたちは空っぽの言葉で、私の夢そして子供時代を奪いました。それでも私はまだ恵まれている方です。多くの人たちが苦しんでいます。多くの人たちが死んでいます。全ての生態系が破壊されています。私たちは大量絶滅の始まりにいます。それなのにあなたたちが話しているのは、お金のことと、経済発展がいつまでも続くというおとぎ話ばかり。恥ずかしくないのでしょうか！

30年以上にわたって、科学ははっきりと示してきました。それに目をそむけて、ここにやって来て、自分たちはやるべきことをやっている、どうして言えるのでしょうか。必要とされている政治や解決策はどこにも見当たりません。

あなたたちは私たちに“耳を傾けている”、そして緊急性を理解していると言います。しかしどれだけ私が怒り悲しんでいようとも、私はそれを信じたくありません。なぜなら、もしあなたたちが状況を理解していながら行動を起こしていないのであれば、それはあなたたちが邪悪な人間ということになるからです。私はそれを信じたくありません。

二酸化炭素排出量を10年で半分に減らしたとしても、地球の平均気温を1.5℃以下に抑えるという目標を達成する可能性は50%しかありません。そしてそれによる取り戻しのつかない連鎖反応を埋め合わせることは、制御不能になります。

あなた方は50%でいいと思っているのかも知れません。しかしその数字には、ティッピング・ポイント（小さな変化が集まって、大きな変化を起こす分岐点）やフィードバックループ（フィードバックを繰り返して改善していくこと）、空気汚染に隠されたさらなる温暖化、そして環境正義や平等性などの要素は含まれていません。そして、私たちや私たちの子供の世代に任せっきりで、何千億トンもの二酸化炭素を吸っている。私たちは50%のリスクを受け入れられません。私たちは、結果とともに生きなければいけないのです。

「気候変動に関する政府間パネル」が発表した、地球の温度上昇を1.5℃以下に抑える可能性を67%にするために残っている二酸化炭素の量は、2018年1月の時点で420ギガトンでした。今日、その数字はすでに350ギガトンにまで減っている。

なぜこれまでと同じやり方で、そしていくつかの技術的な解決策があれば、この問題が解決できるかのように振舞っていられるのでしょうか。現在の排出量レベルを続ければ、残っているカーボンバジェット（温室効果ガス累積排出量の上限）は、8年半以内に使い切ってしまう。

しかしこの現状に沿った解決策や計画は作られないでしょう。なぜならこの数字は、とても居心地が悪いから。そしてあなたたちは、それを私たちにはっきりと言えるほど十分に成熟していない。

あなたたちは、私たちを失望させている。しかし、若い世代はあなたたちの裏切りに気づき始めています。未来の世代の目は、あなたたちに向けられている。もしあなたたちが裏切ることを選ぶのであれば、私たちは決して許しません。私たちはこのまま、あなたたちを見逃すわけにはいかない。

今この場所、この時点で一線を引きます。世界は目覚め始めています。変化が訪れようとしています。あなたたちが望もうが望ままいが。

## 7 参考文献

「グレタ・トゥーンベリ」、Wikipedia（閲覧日 2020年8月29日）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B0%E3%83%AC%E3%82%BF%E3%83%BB%E3%83%88%E3%82%A5%E3%83%BC%E3%83%B3%E3%83%99%E3%83%AA>

安田 聡子、『グレタ・トゥーンベリさん、国連で怒りのスピーチ。「あなたたちの裏切りに気づき始めています」（スピーチ全文）」（閲覧日 2020年8月29日）

[https://www.huffingtonpost.jp/entry/greta-thunberg-un-speech\\_jp\\_5d8959e6e4b0938b5932fcb6](https://www.huffingtonpost.jp/entry/greta-thunberg-un-speech_jp_5d8959e6e4b0938b5932fcb6)